

研究開発構想名 原子力災害からの復興を果たし、新たな社会を創造するグローバル・リーダーの資質・能力の育成

育成人材像 地域や世界の課題と自己の夢とを重ね合わせ、当事者として行動する市民性
立場・価値観の違いによる分断や対立を止揚する協働的ネットワーク構築力
地域の資源を見出し、世界に新たな価値を創造する力

目的

- ① 本県から東北地区に展開するグローバル人材育成のアドバンスト・ラーニング・ネットワークの形成
- ② 探究・海外研修・APを体系的に位置づけたカリキュラム開発
- ③ 地域や世界の課題解決に貢献する人材の育成
- ④ 「教育」と「創造的復興による持続可能な地域実現」の相乗効果創出

機構・地域・大学等と協働したグローバル課題解決探究プロジェクト

④ 「教育」と「創造的復興による持続可能な地域実現」の相乗効果創出
③ 福島国際研究教育機構をはじめ、地域や全国・海外で世界と協働しながら活躍する人材の輩出

大学教育の先取りによる高度な学びの実施

- ・大学と連携したアドバンストプロセスの導入
「学問論演習など」(東北大)
- ・その他文理横断的な高度な学び
(東北大・早稲田大学)

福島をフィールドとしたグローバル探究

- ・大学連携による文理融合した高度な学問との接続を強化した探究カリキュラムの実践
- ・地域課題の取材と演劇を通じて、「創造力」等の資質・能力を強化
- ・アカデミックライティング等のスキル育成強化

世界をフィールドとしたグローバル探究

- ・探究ゼミと連動したプロジェクト型海外研修
- ・オンライン・対面でのグローバル課題探究授業連携
- ・生徒主催の双葉郡FW(東北大、UNIS)
- ・外国人指導者等によるグローバル課題やライティングスキル育成

高校生国際会議の開催(国連関係者・海外連携校等参加)

事業協働機関

福島国際研究教育機構(F-REI)

- ・探究への専門的助言
- ・研究者と生徒による協働プロジェクト
- ・キャリアカフェ

東北大学

- ・より高度な探究へ向けての専門的助言
- ・生徒主催双葉郡FWへの大学留学生の参画
- ・大学授業先取り履修と単位認定

早稲田大学

- ・探究への専門的助言
(リエゾンマネージャー常駐)
- ・協働での創造的復興探究プロジェクト
[ふくしま学(案)会等]

福島大学

- ・個に応じた探究へ向けての専門的助言

NPOカタリバ

- ・カリキュラム共同開発

② 探究を軸としたカリキュラム編成と海外研修・APを体系的に位置づけたカリキュラム開発

原子力防災・伝承探究ゼミ	原子力災害からの復興や廃炉など福島固有の問題を軸にしながら地域社会の在り方を探究する。	共生社会探究ゼミ	地域に暮らす人と人との関係性や、ウェルネス(健康・福祉・医療にとどまらない社会的環境の豊かさ)について探究する。
地域社会・経済産業探究ゼミ	断絶してしまった地域コミュニティの再構築について、生業や農工商業などの産業振興や社会システムの観点から探究する。	人間科学・文化・芸術探究ゼミ	人間の心理・行動の分析や、人間が生み出す芸術・アートを生かした社会のあり方について探究する。
自然科学・地球環境探究ゼミ	研究開発拠点が集中する地域特性を活かし、自然現象の真理や、人間社会と地球環境との関係性を探究する。	スポーツ医・科学探究ゼミ	スポーツ医・科学に基づいたハイパフォーマンスの実現や、トップアスリートの育成における社会環境等について探究する。

事業拠点校：福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校

連携校(県内)

福島県立福島高等学校
福島県立安積高等学校
福島県立会津高等学校
福島県立会津学鳳高等学校・中学校
福島県立磐城高等学校

① 福島アドバンスト・ラーニング・ネットワークの形成

- 構想目的の共有
- カリキュラム改革(探究カリキュラム強化)
- 連携大学AP科目履修
- 教員指導力向上

管理機関 福島県教育委員会

連携校(県外) 宮城県仙台二華中学校・高等学校
山形県立東校学館中学校・高等学校

緊密な「横のネットワーク」

連携校(海外)

国連本部
Civil Society Unit

世界の課題の最前線で向き合っている国連職員と意見交換、議論を行い福島の課題と世界のつながりを構造的に理解する。

国連国際学校
UNIS(アメリカ)

「持続可能な社会づくり」をテーマに地球規模での課題について世界の同世代と意見交換、議論を行う。差別や対立・分断について米国の現状を学び乗り越える方策を探る。

エルンスト・マッハ校(ドイツ)

住民の積極的な参画・関与によるまちづくりや再生可能エネルギーの活用を学ぶ。演劇やプレゼンによる福島の現状報告を行い、地域の理解を促進する。

ブロックハウス・ベイ校(NZ)

中学校3年間の学習の集大成として、「福島の魅力」と福島の今を発信・交流を行う。